

漢字圈國家常用漢字初探

趙順文

開南大學人文社會學院 院長

摘要

本文從羅馬文字圈國家文字表述方式獲取靈感，認為常用漢字可扮演漢字圈國家間之相互瞭解與文化交流的腳色功能。方法論上可效法日語漢字假名書寫方式，包括日本・韓國・越南・台灣・中國等漢字圈國家諸語言共同之 70%乃至 80%漢字可視為重點，透過跨國語言學家與有識之士之共同作業挑選500字左右之常用漢字命名為統合漢字，在共屬漢字圈國家諸語言上採用統合漢字與羅馬字之書寫方式必能促進漢字圈國家間彼此的文化交流乃至於提昇民間人士之溝通瞭解。

關鍵詞：漢字圈國家・常用漢字・借用語彙・生活語彙・漢字羅馬字混成文

漢字圏国家の常用漢字の一考察

趙順文

開南大学人文社会學部 部長

要旨

本稿はローマ字圏国家にならって、言葉の表記法としての常用漢字が漢字圏国家相互の理解ないし文化交流を深める一助となることを唱えるところに目的がある。方法論的に日本語の漢字カナまじり文にヒントを得、日本・韓国・ベトナム・台湾・中国などいわゆる漢字圏国家の諸言語に共通する 70%ないし 80%の漢字に着目し、言語学者を含む各界の有識者による共同作業で 500 字ぐらいを抽出し、これを統合漢字と名づけたうえで、諸言語の表記法において統合漢字は漢字、そうでない部分はローマ字を書くという漢字ローマ字混じり文を作り上げることによって、諸国相互の文化ないし民間レベルの意志疎通に寄付する。

キーワード：漢字圏国家・常用漢字・借用語彙・生活語彙・漢字ローマまじり文